

令和6年度 第3回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会

日時 令和6年11月16日（土） 午前10時～11時30分
場所 益富交流館 大会議室

1 前回会議録の承認について

- 会議録については別紙のとおり
- 事前送付による委員からの御指摘・修正事項はなし
- 承認後、市HPで公開し、合わせて前ページのとおり、意見募集用紙を添付し、意見を募る

2 前回協議会を受けた今後の方向性

【第3回協議会の協議事項】

- (1) 協議会の最終合意として、子どもたちの教育環境を整えるために
「学校再編の必要性」を議論することについて
- (2) 五ヶ丘地区の両小学校の現状（教育環境）について

2 前回協議会を受けた今後の方向性

2 前回協議会を受けた今後の方向性

【第2回協議会の主な御意見と教育委員会としての方向性】

市教育委員会内やまちづくり所管部局等と協議を重ね、次の内容で方向性を提案

主な御意見①	方向性①
「新しい魅力ある学校」の 具体化とさらなる魅力化	○「 <u>新しい教育課程の導入モデル校</u> 」 (例：グローバル人材育成・基礎体力向上) ○ <u>学校以外の機能との複合化や連携</u> (例：地域コミュニティ拠点、独自のアフタースクール)

※詳細はP6～10で説明

2 前回協議会を受けた今後の方向性

主な御意見②	方向性②
市の学校再編案（統合案）を提示のうえ、アンケートで賛否の確認を実施	○具体的な学校再編案の提示とアンケートによる賛否確認は、現時点では実施せず、改めて協議会において、子どもたちのよりよい教育環境について検討する ○よりよい教育環境をつくるために、まず「学校再編の必要性」を議論していく ○再編の必要性が合意された場合、「再編校の位置」を議論していく

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

5

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ①

市内初！

地域や学校の特性を生かした魅力的な教育を進めるための新たな教育課程の検討

英語の場合

- グローバル人材育成のモデル校**として、英語教育を強化
- 英語を入り口として**コミュニケーション能力**や**主体性**などを伸ばしていく



<他市事例>

福津市立上西郷小学校
「英語力」「対話力」向上に向けた、新教科「英会話科」、新領域「ダイアログの時間」の開発（文部科学省HP事例より）

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

6

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ①

市内初！

地域や学校の特性を生かした魅力的な教育を進めるための新たな教育課程の検討

体育の場合

- 愛知県は体力テストの結果が全国より低い。基礎体力向上モデル校として、体育を強化
- たくましく生きるための体力向上を目指し、児童の頑張りを「できる」につなげていく



＜他市事例＞

いすみ市立東小学校
教科体育において、活動内容の工夫と運動量確保を目指した授業づくりを実施、教科外体育として、業間を利用して、様々な運動にふれる機会を意図的に設定（文部科学省HP事例より）

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

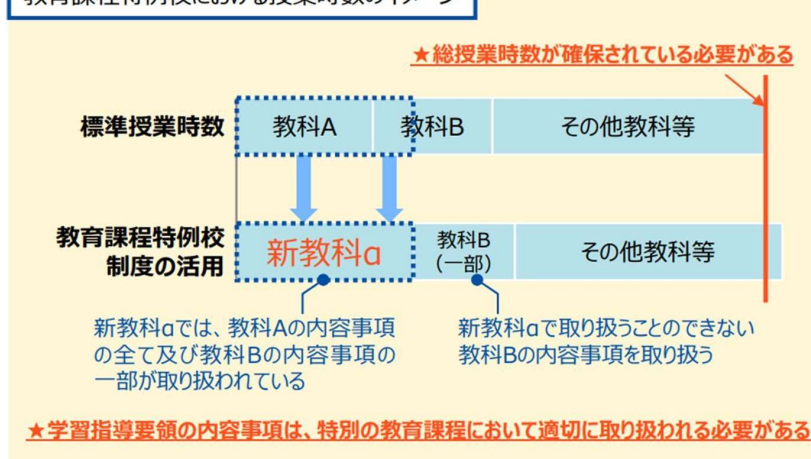
7

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ①

手段の一例…教育課程特例校制度を活用※

※文部科学大臣が、学校教育法施行規則第55条の2等に基づき指定する学校において、学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別の教育課程を編成することを認める制度

教育課程特例校における授業時数のイメージ



※文部科学省HP資料

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

8

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ②

学校以外の機能との複合化や連携

○地域と学校両方が元気になる、「地域とともにある学校づくり」を進める

地域コミュニティ拠点の場合



<他市事例>

鳥取県八頭町 コミュニティ複合施設「隼Lab.」（文部科学省HP事例より）

- 1 階：カフェやショップ、看護協会、地域福祉組織等が入居し、地域住民に開かれたコミュニティ空間を整備
- 2・3 階：コワーキングスペースやシェアオフィス等、サテライトオフィスを意識したビジネス空間を設計・整備

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

9

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ②

学校以外の機能との複合化や連携

○地域と学校両方が元気になる、「地域とともにある学校づくり」を進める

独自のアフタースクールの場合

- ・学習支援（予習・復習、補充学習・ICTを活用した学習活動など）
- ・体験プログラム（実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室、地域探検、農業体験など）
- ・スポーツ活動（野球、サッカー、バドミントン、卓球、一輪車など）



※文部科学省資料より

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

10

2 前回協議会を受けた今後の方向性

主な御意見③	方向性③
地域の活性化、まちづくりと合わせて説明	○現在、まちづくり検討の機運醸成のため、 五ヶ丘まちづくりミーティングを予定 （12月14日） ○市でまちづくりを推進する部局と連携し進めていく（検討状況について必要に応じ協議会にも共有）

※詳細はP12で説明

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

11

五ヶ丘まちづくりミーティングの開催

○ これからの五ヶ丘のまちづくりをみんなで考えていく取組を開始

▶主催 : 五ヶ丘自治区連合会（協力：豊田市）

▶開催日 : 12月14日（土）

▶時間・場所 : ①午後2時30分～午後3時45分（五ヶ丘小学校）

②午後4時30分～午後5時45分（五ヶ丘東小学校）

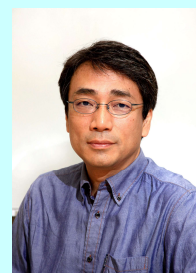
内容

①五ヶ丘地区の現状

②講演：（仮）住民が主役の地域づくりについて

【講演者：東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤】

③五ヶ丘地区のこれからについて考えよう



みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

12

2 前回協議会を受けた今後の方向性

【第3回協議会の協議事項】

(1) 協議会の最終合意として、子どもたちの教育環境を整えるために

「学校再編の必要性」を議論することについて

(2) 五ヶ丘地区の両小学校の現状（教育環境）について

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

13

児童数の減少

※左列がクラス数、右列が児童数

(H16のみ各学年の児童数に特別支援学級児童数を含む)

※校区内の出生数から算出（転入・転出は含まない）

※特別支援学級は、将来予測が困難なため、当該年度の児童数・クラスが引き続き維持するものとして推計

	年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	特支	合計
五ヶ丘	H16	1 26	1 37	1 28	2 42	2 41	2 66	10 240		10 240
	R6	1 21	1 31	1 22	1 33	1 22	1 26	6 155	2 6	8 161
	R7	1 21	1 21	1 31	1 22	1 33	1 22	6 150	2 6	8 156
	R8	1 23	1 21	1 21	1 31	1 22	1 33	6 151	2 6	8 157
	R9	1 18	1 23	1 21	1 21	1 31	1 22	6 136	2 6	8 142
	R10	1 14	1 18	1 23	1 21	1 21	1 31	6 128	2 6	8 134
	R11	1 17	1 14	1 18	1 23	1 21	1 21	6 114	2 6	8 120
	R12	1 11	1 17	1 14	1 18	1 23	1 21	6 104	2 6	8 110

	年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	特支	合計
五ヶ丘東	H16	1 18	1 29	1 20	1 38	2 41	2 56	8 202		8 202
	R6	1 23	1 17	1 18	1 19	1 17	1 14	6 108	1 1	7 109
	R7	1 14	1 23	1 17	1 18	1 19	1 17	6 108	1 1	7 109
	R8	1 24	1 14	1 23	1 17	1 18	1 19	6 115	1 1	7 116
	R9	1 24	1 24	1 14	1 23	1 17	1 18	6 120	1 1	7 121
	R10	1 30	1 24	1 24	1 14	1 23	1 17	6 132	1 1	7 133
	R11	1 8	1 30	1 24	1 24	1 14	1 23	6 123	1 1	7 124
	R12	1 11	1 8	1 30	1 24	1 24	1 14	6 111	1 1	7 112

▶ 行事やイベントができない… ▶ クラス替えができない…

▶ 色々な意見や考えに触れる機会が少ない…

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

14

小規模校のメリットとデメリット

(1) 文部科学省の手引きより

メリット（よさ）	デメリット（課題）
○一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい ○意見や感想を発表できる機会が多くなる ○様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる ○異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる	○クラス替えが全部又は一部の学年でできない ○クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない ○運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる ○班活動や、球技、合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる ○児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる

（参考）公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年1月策定）

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

15

小規模校のメリットとデメリット

(2) 令和5年度の豊田市アンケートより

メリット（よさ）	デメリット（課題）
○授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる ○日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる ○友達がいつも同じで、とても仲良くてできる	○いろいろな意見や考えに触れる機会が少ない ○クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない ○行事、部活動、委員会、遊びなどいろいろな種類の活動ができない

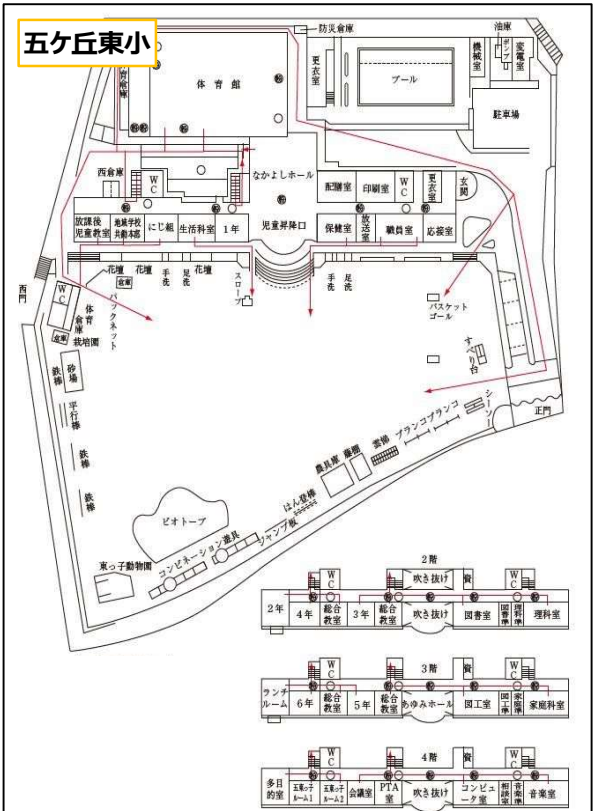
※中学生、小中保護者、園保護者の回答で多かったもの

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

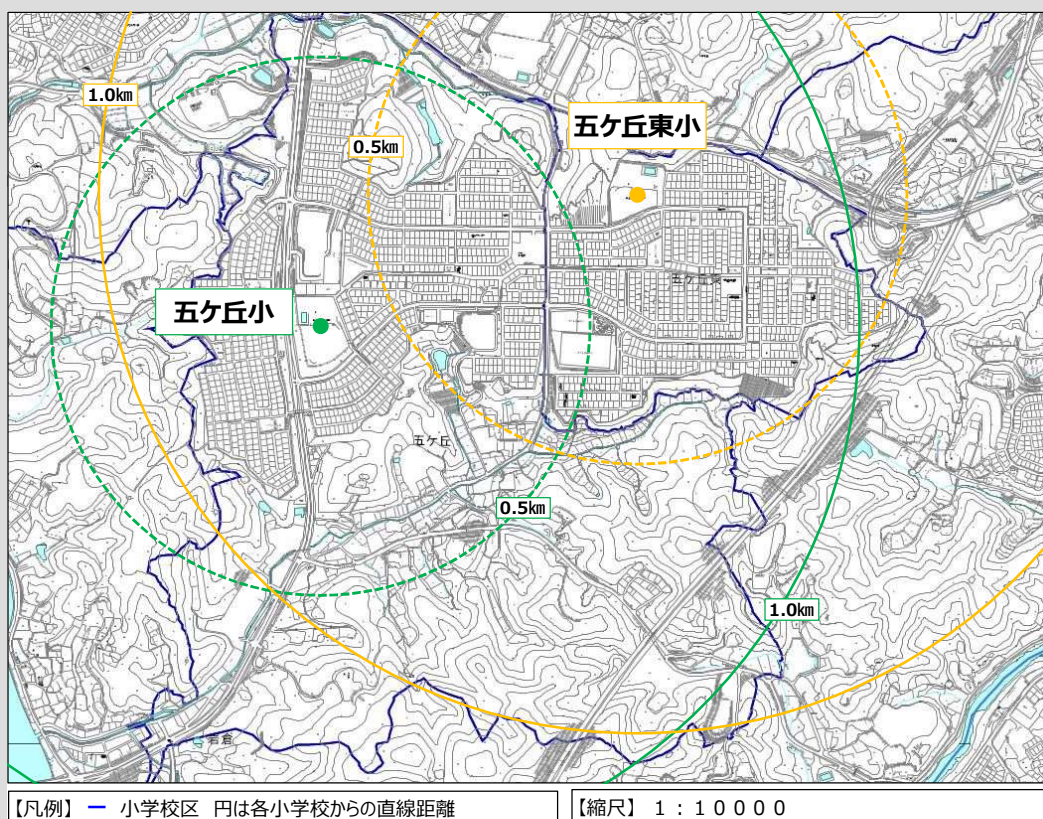
16

五ヶ丘小学校と五ヶ丘東小学校の概要

		五ヶ丘小学校	五ヶ丘東小学校
建築年		昭和62年	平成 2 年
面積	校舎	5,572㎡	4,945㎡
	運動場	8,722㎡	8,658㎡
児童数		161人	109人
通常学級数		6	6
保有教室数		30	21
放課後 児童クラブ	場所	余裕教室	余裕教室
	登録児童数	38人（夏季49人）	19人（夏季42人）
	定員	78人	38人



2 前回協議会を受けた今後の方向性



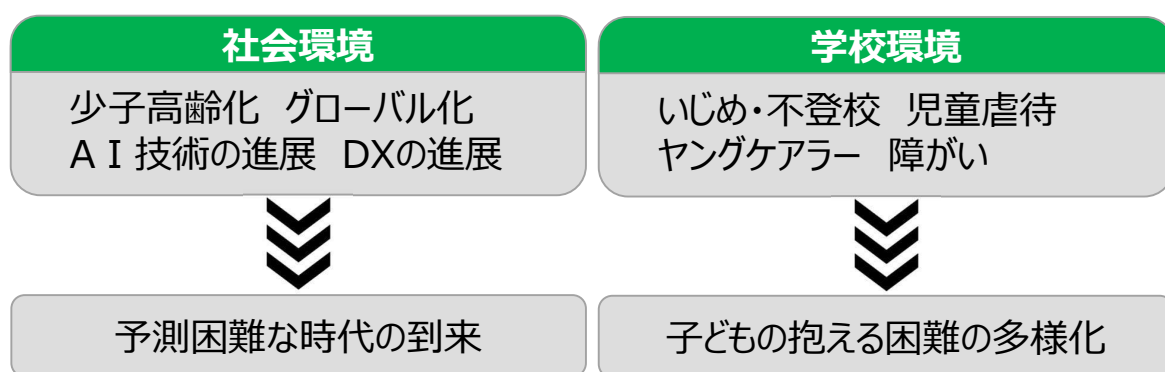
通学区域

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

19

2 前回協議会を受けた今後の方向性

子どもたちが生きるこれからの社会



▶ 子どもたちはこれから

すぐに答えの出ない課題に直面していく

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

20

育みたい子どもたちの姿とめざすべき教育環境

持続可能な社会の創り手の育成

主体性 リーダーシップ
創造力 課題発見・解決力
論理的思考力
表現力 チームワーク

ウェルビーイング※の向上

幸福感 学校や地域でのつながり
利他性 協働性 自己肯定感
自己実現

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。
短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

(参考) 第4期教育振興基本計画(国)



育みたい子どもたちの姿



▶ **こどもがミライを生き抜く力を養い**

自己肯定感を持っている

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

21

育みたい子どもたちの姿とめざすべき教育環境

育みたい資質・能力：自己肯定感、課題発見力・解決力、対話力

- このような力を育むためには、学校、家庭、地域など様々なつながりの中で、子どもたちが**実体験を伴う学びや、多様な意見や考え方に触れる機会**を増やしていく必要がある。
- 子どもたちにとってよりよい教育環境を実現するためには、**教職員等が働きやすい環境**であることも重要
- 子どもたちが様々な体験・経験ができる場として学校という場を生かしていくことが必要



毎日
楽しい!



めざすべき教育環境



働き
やすい!

▶ **学校に関わる全ての人が幸せを感じられる学校**



子どもたちと
のふれあいで
充実!



みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

22

これまでの検討状況

令和4年11月	五ヶ丘各自治区・大見自治区とPTA・子ども会等により、 小学校の在り方についての意見交換会を実施 ⇒学校再編に関し賛成する声も多くあり
令和5年 3月	五ヶ丘各自治区長・大見自治区長が要望書「五ヶ丘地区 の学校再編に関する検討について」を提出
令和5年 8月 9月	区長・保護者等との意見交換会を実施 ⇒子どもたちに必要な教育環境について意見交換し、「異 学年間の交流」「集団でのコミュニケーション能力」などの意 見が見られた
令和5年10月 ～11月	小中学校の教育環境についてのアンケート調査を実施 ※アンケート調査結果は市ホームページでご覧いただけます ＜豊田市ホームページ＞ くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等に対応したより 良い教育環境の実現に向けた取組

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

23

3 今後のスケジュール（予定）

- 1月26日 第4回協議会
- 3月末頃 第5回協議会
- 令和7年度 引き続き、協議会で継続して協議
※各団体役員の交代に伴い委員の交替あり
保護者・住民への説明会の検討

みんなでつくるこどもたちと五ヶ丘の新たなミライ

24